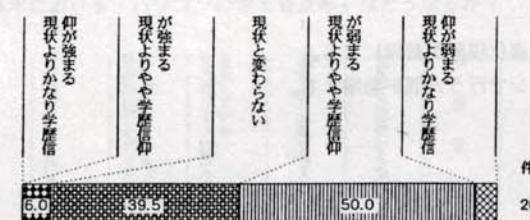


Q14. 学歴信仰

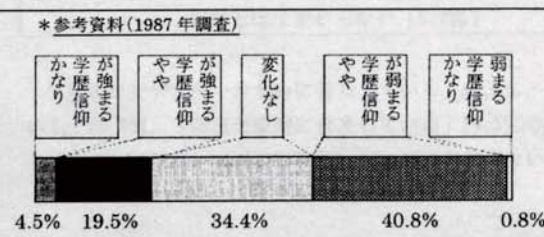
（左欄は回数）（右欄は回答数）

		一回目調査						二回目調査							
		合計	現状より強まる かなり学歴信 仰	現状よりやや学 歴信仰	現状と変わらない	現状よりやや学 歴信仰	現状より弱まる かなり学歴信 仰	無回答	合計	現状より強まる かなり学歴信 仰	現状よりやや学 歴信仰	現状と変わらない	現状よりやや学 歴信仰	現状より弱まる かなり学歴信 仰	無回答
性別	合計	104 100.0	4 3.8	15.4	30 28.8	42 40.4	9.6 9.6	1.9 2	200 100.0	- -	12 6.0	79 39.5	100 50.0	9.5 4.5	
年齢	男	96 100.0	4 4.2	14.6	29 30.2	38 39.6	9 9.4	2.1 2.1	184 100.0	- -	12 6.5	71 38.6	93 50.5	8.6 4.3	
	女	8 100.0	- -	25.0	12.5	50.0	12.5	- -	16 100.0	- -	8 50.0	7 43.8	1 6.3	- -	
	20才代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	
	30才代	6 100.0	1 16.7	- -	16.7 16.7	50.0 50.0	1 16.7	- -	11 100.0	- -	3 9.1	3 27.3	7 63.6	- -	
	40才代	17 100.0	1 5.9	2 11.8	29.4 29.4	29.4 29.4	5 11.8	2 11.8	43 100.0	- -	3 7.0	19 44.2	19 44.2	2 4.7	
	50才代	14 100.0	1 7.1	28.6 14.3	42.9 42.9	7.1 7.1	- -	- -	37 100.0	- -	13 35.1	19 51.4	5 13.5	- -	
	60才代	40 100.0	1 2.5	17.5 30.0	45.0 45.0	5 5.0	- -	- -	66 100.0	- -	3 4.5	30 45.5	31 47.0	2 3.0	
	70才代	23 100.0	- -	13.0 39.1	39.1 39.1	8.7 8.7	- -	- -	37 100.0	- -	4 10.8	11 29.7	22 59.5	- -	
	80才代	2 100.0	- -	- -	- -	50.0 50.0	1 1	- -	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	
	90才代	1 100.0	- -	- -	100.0 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	

Q14. 2010年における「学歴信仰」はどうなるか？



第1回調査結果 現状よりやや学歴信仰が弱まる【40.4%】現状と変わらない【28.8%】
現状よりかなり学歴信仰が強まる【15.4%】



「現状よりやや学歴信仰が弱まる」がもっとも多く 50.0%、ついで「現状と変わらない」が 39.5%で続いている。
参考資料の1987年調査では、「やや学歴信仰が強まる」「かなり強まる」を合計すると、24.0%であったのに対し、今回の調査では、わずか 6.0%であった。

<自由回答まとめ(1回目調査)>

Q14. 2010年の学歴信仰の度合いに関する予測

Q14-A. 予測の理由・根拠

〔現状より強まると思う理由〕

- ・日本社会では学歴進行は根強いため。
- ・受験に参加する者の割合が増加するため。
- ・学歴が高い人は、総体的に見てやはり有能な人が多いため。
- ・高学歴の親が増加し、子に学歴を期待するため。

〔現状と変わらないと思う理由〕

- ・親や社会の認識が不变のため。
- ・一流大学の存在が学歴信仰を支えるため。
- ・企業の採用形態が同じである限り、変化はないため。
- ・卒業生同士のつながりや人脈からいっても、どの大学を出たかは軽視できないため。
- ・官庁と企業のもたれあいの構造が継続するため。

〔現状より弱まると思う理由〕

- ・良い大学を出ても必ずしも幸せでないことがわかってくるため。
- ・学閥支配打破の制度的改革が行われるため。
- ・技能重視が進むため。
- ・価値観の多様化が進むため。
- ・学歴より資格が重要になるため。
- ・年功序列から能力給に移行するため。
- ・学歴=幸福という図式が希薄化するため。

Q14-B. その結果、何が最も変わるか

〔現状より強まった場合〕

- ・大学格差の增大。
- ・低学歴者の疎外感が大きくなる。
- ・男子も総合職と一般職に分かれる。
- ・大学院への入学者が増加する。
- ・大学でやることと、実社会でやることとの結びつきが強くなる。

〔現状より弱まった場合〕

- ・受験勉強が楽になる。
- ・個人個人の能力そのものが問われる時代になる。
- ・有名校への志願者が減る。
- ・一般人の大学講義が増加する。
- ・企業が採用の時に学歴に頼らなくなる。
- ・教育システムが多様化する。
- ・入学年齢がバラバラになる。
- ・受験戦争がなくなる。